

三姉妹育児中です♪ ～3回の産休・育休を通して～



堀野 那菜

総務部総務課
秘書広報室・主任

産休・育休取得期間

- 1回目：約1年4ヶ月
(2015.12-2017.3)
- 2回目：約1年3ヶ月
(2018.1-2019.3)
- 3回目：約2年
(2020.5-2022.4)

出産

- 2016.1 (第1子)
- 2018.2 (第2子)
- 2020.6 (第3子)



朝から寝る直前まで、3人で
すーっとおしゃべりしています



「三姉妹～？」と
よく声をかけていただきます

【産休・育休に入るまで】

いずれの出産に関しても、予定日がわかった時点で上司に妊娠を報告しました。同僚には、安定期に入ってから報告でした。

妊娠中は、職場のみなさまにたくさん支えていただきました。さりげなく重い荷物を持ってもらったり、甘いものをいただいたり、ハードな業務を代わっていただいたり。育児の先輩方からは、出産への励ましやアドバイスをしていただきました。

上司と同僚に恵まれ、たくさん助けていただき、産休直前まで穏やかな気持ちで働くことができました。

【産休・育休に入ってから】

仕事をお休みさせていただいたことで、自分の体と向き合い、出産の準備にゆとりをもって臨むことができました。

3人の産休・育休を経験した中で、一番印象に残っていることがあります。三女の産休中、次女が痙攣を頻発し、要精密検査となりました。仕事復帰まで1ヶ月を切っており、すでに復帰日も決まっておりました。複数の検査を受けなくてはならず、検査日程も、三女の預け先も決まらず・・・退職も覚悟して、当時の上司に相談しました。結果、関係各所に掛け合ってください、育休を延長していただくことになりました。

忙しい業務の傍ら私の気持ちや家庭事情に寄り添ってください、各所と調整いただいたその時の上司には、今でもとてもとても感謝しています。

(3回目の育休を長くいただいたのは、このような事情があったからでした、多々ご迷惑をおかけしてしまいました)

*精密検査の結果、次女は熱性痙攣という診断で、深刻な病気ではありませんでした。今でも発熱時、高熱になる前に痙攣止めの坐薬を入れています。

【産休・育休が明けて】

長女のときから共通していることなのですが、仕事復帰からの数ヶ月は記憶にありません！涙 長女、次女のときは4月から復帰したのですが、仕事復帰、業務の繁忙期、慣らし保育、そして夫の異動とたくさんのが重なり・・・復帰の時期もよく考えたほうがよかったですと思いました。(三女のときは、お願いして5月に復帰させてもらいました)

1人→2人→3人と家族が増えるにつれ、お皿や洗濯物など多くのものが増え、それに伴いやるべきことも増えました。今、3人が小学校、こども園①、こども園②と別々の場所へ通っているので、スケジュールや持ち物の管理がとても大変です。(私がすべて把握できていないので、子どもたちは自分のことは自分でしなきゃだめと思っているようです、よかった。笑)

もはや戦友の夫とは、スケジュール管理アプリや、時代とともに進化する便利な家電を使用して、なんとか日々を乗り切っています。(これも私がすべてできないので、娘たちの髪を結うこと以外、夫はなんでもできるようにになりました、よかった。笑)泊まりがけの出張や、多くはないですが超勤など、産前と大差ない業務ができていることには感謝しています。

子どもの体調不良や行事等で仕事をお休みすることもしばしばあり、職場の方々の理解と優しいお言葉に日々励ましていただいています。

【最後にひとこと】

出来立てのごはんを食べさせることも、家をきれいに保つこともいまは諦めました。この目まぐるしい日々もあっという間だという先輩方からの言葉を信じて、できるだけ楽しみながら子育てをしたいと思っています。

職場の方々、両親、義両親、近所の方、友人などたくさんの方にいつも助けていただけており、この恵まれている状況にとっても感謝しています。しかし、このような状況が必ずしも当たり前ではない環境もまだあると聞いています。大学、そして社会全体が穏やかに子育てできる環境になることを願っています。

今は自分のことだけで精いっぱいでもとても余裕がありませんが、支えてくれているみなさんにいつか恩返しができるよう、感謝の気持ちを忘れずに過ごしたいと思います。